

名 建 政 第 9 3 号

平成20年10月20日

国土交通省 道路局長 様

名張市長 亀井 利克



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありましたみだしのことについて、別紙のとおり提出します。

## 今後の道路行政についての意見・提案

## ①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

三重県 名張市

『中部圏広域地方計画中間整理（案）』において、「第3章 中部圏の持続的発展に向けた戦略」として、「中部圏広域交流ネットワーク形成」を取り上げ、「都市間を結ぶ高規格幹線道路等の基幹ネットワーク整備、県境を越え地域間を有機的につなぐ道路網の整備、都市と地方部の市町村を結ぶ生活幹線道路ネットワーク形成を図る」とされていますが、市域に都市間を結ぶ高規格幹線道路（直轄国道）を持たない自治体は、地域の振興を図る上で、非常に不利な状態に置かれています。

このような道路整備状況に起因する地域格差を解消するため、高規格幹線道路の存在しない地域において、高規格幹線道路等へ接続する路線等地域の幹線道路整備事業に取り組む場合、優先的に予算の確保、事業の採択を図るとともに、補助率の上乗せなど財政的優遇措置の導入を要望します。

経済の活性化や地域間交流を行ううえで、新たな道路の建設は重要な要素のひとつであることは言うまでもありません。

一方、公共土木施設を安全で安心して快適にご利用いただくためには、既存ストックを健全に維持管理していくことが重要ですが、財政的に厳しい状況にある地方自治体にとっては大きな負担となり、その対応に苦慮しています。

そのような中で、『地方道路整備臨時交付金制度による耐震補強パッケージ』や『道路橋における長寿命化修繕計画策定事業』が創設されたことに、お礼申し上げるものですが、今後は、過去に補助事業等で建設した道路における修繕（特に舗装補修）等施設の維持管理面における補助事業メニューの創設など、財政面でのさらなるバックアップをお願いしたいと考えます。

## 今後の道路行政についての意見・提案

## ②-1 地域の現状と抱える課題

三重県 名張市

## ○現状

## 1. 高規格道路へのアクセス性

国土交通省道路局が示す「平成20年度道路政策5つのポイント」における基本方針の1つとして、「高規格道路ネットワークの効率的活用・機能強化」が掲げられていますが、当市域には高規格道路が存在せず、車社会が高度に発達した今日において、経済の発展、広域連携の推進、緊急時輸送の確保等多方面において障害となっています。

## 2. 老朽化する道路施設の適切な維持管理

高度経済成長期以降、集中的に整備を図ってきた道路ストックの老朽化が進んでおり、維持補修の必要性が激増しています。

特に、当市の場合、市内に分散して開発された住宅団地内における生活道路の老朽化が著しいが、財政的に厳しい状態にあることから、十分な維持管理が行われているとは言えません。

## ○課題

高規格道路の誘致については、早期実現が困難であることから、問題解決のためには、当市に隣接して通過している「名阪国道」へのアクセス性向上を図ることが最も現実的かつ効果的な方策である考えます。そのため、当市の幹線道路であり、名阪国道への連絡道でもある「国道368号」について、当市中心部から名阪国道までの区間における4車線化の早期実現が喫緊の課題となっています。

現在の対症療法的な維持管理では、限られた予算の中で十分な対応が不可能であり、結果的に施設の寿命を縮めることとなるため、計画的に予防保全的な維持管理を実施することで、施設の延命化、維持管理経費の平準化を図る必要があります。

厳しい財政状況下において、新たな維持管理手法へ移行・定着するまでの財源確保が課題となっています。